

まちフェス開催



2/18(日)福江文化会館で『まちフェス〜つながる・つなげる・ちいきの未来〜』を開催しました。11時30分からロビーイベント、13時からステージイベントを行いました。ステージイベントでは、鹿児島県からお越しいただいた“行政に頼らない「おら」おこしの実践家”豊重哲郎氏の講演がありました。現在に至るまでの苦労話や頑固おやじとの和解などの話を聞いて、胸が熱くなりました。アトラクションとして“岐宿の鬼神太鼓”“大宝の白鳥神社神楽”“高田青年団によるチャンココ”が披露されました。なかなか一緒に見れる機会はないので、良い経験をさせていただきました。みなさん地域の伝統文化に誇りを持ち、堂々と披露されていました。後継者不足が問題視されていますが、今回のフェスをきっかけに「やってみたい」と思う方が現れると良いなと思います。



崎山地区まちづくり協議会 活動紹介



【高齢者と子ども達の絆事業】

目的: 少子高齢化が進み、独居老人の増加も深刻な問題である。また子ども達の減少も著しく、活気がなくなっている。その崎山地区で、高齢者は伝統的な料理や、野菜づくりを子ども達に伝えていき、また子ども達は高齢者に元気を与えていく役割を持たせる。子ども達が将来進学等で崎山を離れても、「またすぐ帰って来たい、自分たちの子どもも崎山で育てたい」と思える地域づくりを目指していく。

内容: 耕作放棄地を利用し、南瓜の栽培。収穫した南瓜で、ハロウィン“ジャックオーランタン”を作成し、子ども達は仮装し高齢者施設に届けた。



【地域の居場所づくり事業】

目的: 高齢者の引きこもりの軽減や、生きがいづくり。地域の中のコミュニケーションが減り、ひとり暮らしの高齢者等が日常生活に不安を抱え、自治会役員や民生委員への負担が大きくなってきている。一方、意欲と能力のある高齢者も多く、地域で支える側として活躍できる場所をつくる。

内容: 月2回茶話会の開催



【史跡・自然環境保護活動事業】

目的: 自然豊かな崎山地区。以前から不法投棄禁止の呼びかけをしているが、その数は減る傾向にない。この綺麗な風景を未来の子ども達に残していくためにも、不法投棄、清掃活動、海洋ゴミ調査等の環境保護活動に取り組む。

内容: 子ども達地域住民一緒になって、不法投棄・清掃活動、海洋ゴミ調査などに取り組む。

【買い物支援事業】

目的: 75歳以上の高齢者対象のアンケート結果を踏まえ、買い物に困っている高齢者の支援を行い、長く住み続けられる町を目指す。

内容: 移動スーパーでの購入のお手伝い。

崎山地区まちづくり協議会のブースでは、“きな粉づくり体験”と“手のひら団子の振る舞い”を行いました。ブースの周りには挽きたてのきな粉の良い香りがして、通りがかった方が「いい匂いがする」と言っていました。挽いたばかりのきな粉で食べる手のひら団子は好評で、すぐになくなりもう少し多く作れば良かったと会員の皆さんとで反省しました。(約130食は用意したんですけどね…)

また崎山地区の活動紹介では、「〇〇ちゃんがいる、こんなことしてるんだ」と知り合いを見つけて喜んでいる子どもがいたり、入場の時渡された「応援シール」をたくさん貼ってもらい、いろんな方々に崎山のことを知ってもらおう良い機会になりました。

鬼岳火山群の溶岩台地（ジオ）に生きる “さっきゃまびと”

Vol.25

2024.4.1 発行

発行責任者

崎山鑑瀬自然を守る会

会長 古里 幸一

090-2393-1990

..... 横道組最後の“日の嶽祭り（宴）”



当番家の奉納幟



横道組
日の嶽祭り（夜の部）



日の嶽神社

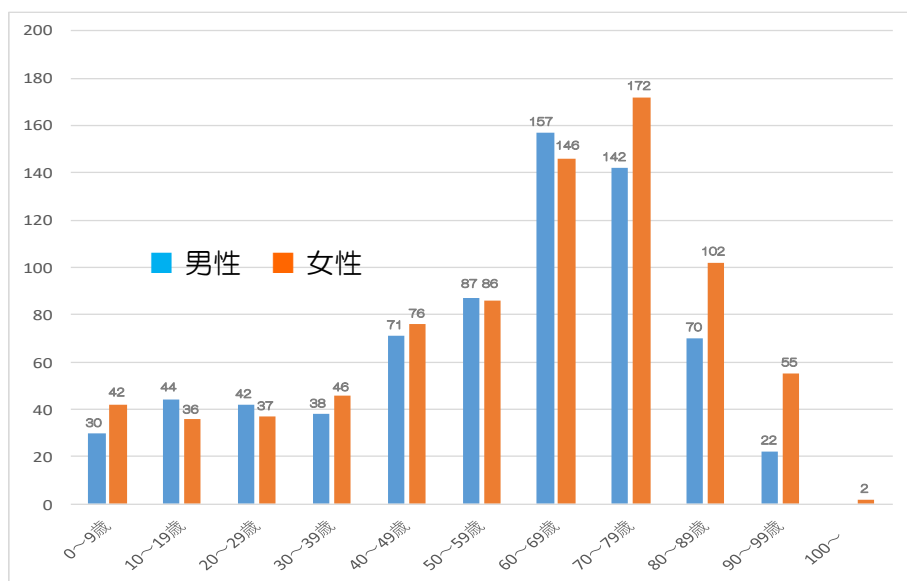
“日の嶽よ
食の文化も
暮おろし”

令和6年1月28日 上崎山町 第一町内会 隣保班横道組の日の嶽祭りが行われた。当番は入江家である。当番は十数年前に新調した横道組の幟「日の嶽大明神」を家に立て片平の「日の嶽神社」に蠟燭、供物（米飯・刺し身・お神酒）を供え、組の代表として五穀豊穰・除災招福・家内安全を祈願する。夜の部は当番家のご馳走（ばしょ盛・まぜご飯・さしみ・吸物等）とアルコールを用意し、参拝の報告後、持ち帰ったお神酒で杯を上げアルコールと馳走を振る舞うのである。馳走にも決まりがあり、7種以上の食材を盛ったばしょ盛、7枚（奇数）の刺し身、これは亭主（男）が皿盛りするなど、当番家は持ち回りといえども出費も馳走準備もと大変な一日である。年に三回、1月・5月・9月の各28日に行われているが、この祭りの起源は不詳である。ただ、明確なのは往時針村（第一・第二町内会）、里村（第三・第四町内会）でも行われていたが、核家族化が進む中、各本祭りは簡素化または中止となっている。このような祭り後の馳走振る舞い宴は、隣保班で行われる下崎山町の河祭りでも見られ、本山町吉田地区の川祭りでも見られる。

『本山郷土誌（川口三吉著）』の川祭りの記述に「神事後に当番の家に集まりて、皆でご馳走を作って会食する。これは今までの農事に疲れたからだを休めるレクリエーションの意味と近隣の親睦を厚くしようということから起こったものという。」神様もここ一堂に集まってお祭りするから我らのを助けてくださいよ！！との願いを込めた宴であると私も考えている。祭りは今後も持ち回りで横道組は続けるが、ここで一つの食文化が消えるのは淋しいものである。でも気にかかる。隣保班。第一町内会では野口組、横道組とあるがこの組が隣保でもある。幕藩体制時の五人組制が形を変え、隣保班として制度化されたのは昭和40年（1940）の「部落会町内会等整備要領（内務省訓令）」からである。しかし、私は崎山村発足（明治22年）以前からこの隣保組織が集落を支えていたと考えている。

～ 経塚までの道がきれいになりました～

3月2日(土)経塚までの道を、舗装しました。この道は町内会で草払いをしているのですが、毎回人が通れないほど草が生い茂っているそうです。そこで、町内会のみなさんとまち協で再生アスファルトを敷いて道の舗装を行いました。久しぶりの10℃を下回る寒い日でしたが、みなさんお疲れ様でした。そして再生アスファルトを無償提供してくださいました「山寿興業」様、ありがとうございました。



崎山地区人口統計表
(令和6年2月29日 現在)
崎山地区高齢者率 49.5%



	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区
男	74	71	49	54	59	54	72	99	89	38	44
女	88	81	60	73	68	61	77	101	89	50	52
合計	162	152	109	127	127	115	149	200	178	88	96
世帯数	87	80	56	75	67	56	84	120	107	49	65

崎山地区全体 男 703名 女 800名 計 1,503名 (先月比-2名)

崎山地区まちづくり協議会 事務局 集落支援員 奥野

五島市役所 崎山出張所内 TEL 0959-73-6389